

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 新 岐阜関ヶ原古戦場記念館展示コンテンツ調査費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 岐阜関ヶ原古戦場記念館

電話番号：0584-47-6070

E-mail：c23116@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,526 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,526	0	0	0	0	0	0	0	3,526
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜関ヶ原古戦場記念館のシアター映像は、集客効果の見込まれる目玉展示であるが、繰り返しの観覧に伴い来館者への訴求力が低下する他、期間経過後は陳腐化に伴う相対的な誘客効果の低下が予想される。

シアター映像の魅力を今後も維持していくためには、定期更新が必須であるが、更新には多くの経費を要するため、事前に十分な調査が必要となる。

このため、シアター映像更新に向けた基礎的な調査を行う。

(2) 事業内容

○CS調査 (顧客満足度等調査)

アンケート調査を専門業者に委託し実施し、結果に基づきシアター映像の強み弱み及び顧客ニーズを分析して、次期シアター映像の作成の方向性の提案を受ける。

○他事例調査

シアターを擁する博物館等の状況について質問票に基づく担当職員への聴取及びシアターの視察等の現地調査を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設で上映する映像の作成にかかる費用であり県負担が妥当

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	346	現地調査及び県庁打ち合わせ
需用費	120	現地調査に必要となるコピー用紙等事務用品
役務費	60	現地調査に伴う電話代、郵便料金
委託料	3,000	C S 調査に係る業務委託経費
合計	3,526	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱの3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2)次世代を見据えた産業の振興

④観光産業の基幹産業化

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

岐阜県独自事業

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

県が管理する施設での事業であるため県執行が妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/>	新規要求事業
<input type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和7年度に新シアター映像を一般公開する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
観光消費の経済波及効果	億円 (H-)	4,601億円 (H28)	4,175億円 (H29)	4,172億円 (H30)	5,000億円 (R2)	83.4%
観光入込客数 (実数)	万人 (H-)	4,696万人 (H28)	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,600万人 (R2)	100.1%
外国人延べ宿泊者数	万人 (H-)	101万人 (H28)	98万人 (H29)	102万人 (H30)	150万人 (R2)	68.0%

○指標を設定することができない場合の理由

シアター映像の作成に向けて実施する調査業務であり指標の設定は困難

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	シアター映像は岐阜関ヶ原古戦場記念館の中核をなす展示物であり作成に多額の経費が掛かることから十分な調査が必要であるため。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新たに作成するシアター映像をいかに魅力的なものに作り上げるのが課題となっている。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか。 調査結果を参考にして映像の内容及び作成時期を検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】